

01

「なぜ?」「どうして?」の問いかけを重視
見て触れて、本物を知った後に味わう喜び

古屋農園

代表 古屋勝さん
住所 旭川市東旭川町豊田396-2
URL <http://furuyanouenn.nengu.jp/>
連絡先 電話:0166-76-2668 FAX:0166-76-2252
E-mail furuya@lilac.hokkai.net



- 受入可能人数 数名～250名
- 受入時期 通年
- 所要時間 2～4時間
- 体験料 メニューによって変わります (お問い合わせください)

古屋勝さん

古屋農園4代目。平成17年度の「地域に根ざした食育コンクール」では20年余りに渡る食農教育の実績が認められ、優秀賞を受賞。旭川市民農業大学の開設にも尽力し、体験交流の普及に努める。

体験内容

- 稲作…田植え、草取り、稲刈り
- 畑作(大豆、菜豆類)…播種、草取り、収穫
- 野菜(ピーマン、ミニトマト、ほうれんそう)…播種、移植、草取り、収穫
- その他…農作物加工、わら細工、出前授業、自然観察

提供している食育の分野

- 食を楽しむ、味覚を育てる
- 食べ物の大切さを知り、自然の恵みに感謝する
- 食べ物の作られる過程などを理解する
- 食を通して環境について考える など



* 農業体験モデル例 *

小学校6年生

- 実施日 2011年6月29日(水)
- 体験参加者 児童47名
教員5名
- 受入れ者 農園スタッフ4名
サポーター2名 (ジギスカン 屋食の手伝い)
- 所要時間 10:00～13:30

事前に行うこと

- 担当教員、スタッフで当日の手順、持ち物、注意事項などの確認
- 雨天の場合どうするか、連絡方法の確認、事故が起きた場合の対応確認

実施内容

10:00

全体で集まり、最初にあいさつ、諸注意身支度準備
3グループに分かれ、田んぼのいろいろ観察・お米といのちの話・ピーマンの収穫を各グループが交代しながら進めていく

10:40

田んぼのいろいろ観察
移動の5分を入れて約30分

11:15

お米といのちの話
食料自給率などこれからの食について30分目安
5分で次の体験に移る準備

活動の特徴

飲食店営業許可を取得し、「味わう」場も提供

「みんな、どうして食べるの?」宿題は忘れても毎日食べることは忘れない。「それはなぜ?」古屋さんが農業体験で大切にしているのは、この問いかけの姿勢です。水田に入る「いろいろ観察」やプロジェクターを使った「お米といのちの話」、「ピーマンの収穫」の3プログラムを通じ子どもたちに見る・触れる・本物を知る、そして自らで考えることを促します。

旭川市内でも早くから農業体験の受入れを積極的に行い、食育コンクールで優秀賞を受賞したこともある古屋さん。農業体験の場で「味わう」楽しさも実感してほしいと飲食店営業許可を取得し、園内に自分たちが加工したものをそのまま食べられる食堂も作りました。受入人数が多いときはサポーターとして北海道教育大学旭川校の学生や「旭川市民農業大学AND」のOBなどが活躍(時給1000円程度)。万全の体制で子どもたちを迎えています。



お屋のジンギスカンタイム。
屋外で食べると
おいしさ倍増!



苦くて敬遠していたピーマンも
「甘くておいしい!」と大好評



ヘッドセットや
フリーハンドマイクも
完備の古屋農園

なっとく!
食育!

「転勤族の子どもたちに北の大地で農業体験を」 札幌市内小学校教員から

古屋農園さんで農業体験を始めてから学校近くの農地を借りて、自分たちでも野菜作りに取り組んだ時期がありました。本校の児童は7割近くが公務員の家庭です。3年ほどで全国各地に転校していく子どもたちに、日本の食料生産に大いに貢献している北海道で少しでも農業体験をさせたいとの思いからでした。これに賛同して下さった古屋さんはわざわざ札幌まで向ういて野菜作りのアドバイスや日本の農業の現状について熱心に話してくださったものです。

子どもたちは食料生産の苦労や喜びを体験したことで自分たちの食生活に目を向け、食の安全や地産地消の大切さに気づくことができました。体験からの学びをもとに他の学年に給食を残さないよう呼びかける活動も行いました。これからは農業者と教育者が出会い、子どもたちそして保護者に農業体験の場が提供され、北海道の農業をみんなで支えていくことが大切だと考えています。

受入れ側が用意するもの

ピーマン収穫用のハサミ、プロジェクターなど上映資材一式、応急手当セットなど

体験者が用意するもの(服装・持ち物など)

水田に裸足で入るので洗った後の手足を拭くタオル、
収穫したピーマンを入れるビニール袋

新規就農者も送り出した 旭川市民農業大学

point!

古屋さんが仲間と立ち上げた「旭川市民農業大学」(通称AND)は、生産者と市民を結ぶ学びの場。「学生」の在籍期間は1年間。月1回の農業講座で参加者全員が旭川の農業のあり方を考えていきます。これまで1000名近くの学生を送り出し、10名を超える新規就農者を輩出しています。

旭川市民農業大学
<http://www.city.asahikawa.hokkaido.jp/files/nousei/and/andtopnew.html>

11:45

ピーマンの収穫

2人に1つハサミを渡し
切る人・受け取る人を
交代しながら行う

12:20

昼食

炭火でジンギスカン
収穫したピーマンも
一緒に焼いて
「いただきます!」

13:30

全体で集まり
終了のあいさつ

児童の感想から

- 古屋さんのおかげで田に入れたり、米やピーマンについてたくさん学びました。古屋さんに教えられたことは忘れません。
- 甘くておいしいピーマン、ありがとうございました。大人になったら絶対行くので待っていて下さい!
- めったに体験できないことやお米の話などを聞けて、とても勉強になりました。